

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもります。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせませす。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放を勝ちとります。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてます。

今週の紙面

- 2面 女性ニュース/国会
- 3面 読者のページ/まんが/俳句
- 4面 婦人保護/あのことろ/LGBT/法律相談
- 5面 新・憲法講座/ホットライン
- 6面 手づくり/もう一品/母の歴史
- 7面 新婦人のページ/主張/女性の体



埼玉・川越市 千田有紀

新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです

自然環境を破壊しSDGsに逆行する 辺野古新基地建設は止める!

沖縄・名護市長選挙 1月16日告示・23日投開票



岸本事務所に寄せ書きを届け、激励する新婦人の名護みやらび班の会員と県本部。右から2人目が岸本洋平さん(撮影時のみマスクを外しています)

辺野古新基地建設阻止をめぐる、来年1月23日、全国が注目する沖縄・名護市長選挙がおこなわれます。最新の情勢と、「オール沖縄会議」から立候補予定の岸本洋平さんのインタビューを紹介いたします。

国の横暴に負けない — 新たなたたかいへ —

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地の建設は、新たな局面を迎えています。

一昨年、埋め立て予定地に軟弱地盤が広がっていることがわかり、新基地をつくるためには、約7万本もの杭を新たに打ち込む大規模な地盤改良

工事が必要となりました。ところが、政府は必要な調査も試験も行わず、「建設ありき」のさまざまな設計変更を県に申請。これに対し、玉城デニー県知事は11月27日、「不承認」を決定しました。

12月4日、辺野古のキ



辺野古新基地建設をめぐる主な動き

- 18年9月 県知事選で翁長県政を引き継ぎ、新基地建設反対を掲げる玉城デニー氏勝利
- 18年12月 沖縄防衛局が辺野古埋め立ての土砂投入を開始
- 19年1月 辺野古・大浦湾側で水面下90㍍に達する軟弱地盤を政府が認める
- 19年2月 辺野古埋め立ての賛否を問う県民投票で「反対」が7割超
- 20年4月 沖縄防衛局が辺野古埋め立て設計変更を申請
- 21年11月 県が辺野古埋め立て設計変更を不承認
- 21年12月 沖縄防衛局が設計変更不承認に不服審査請求

工事が強行される辺野古・大浦湾 2020年9月3日、沖縄県名護市

「オール沖縄会議」の名護市長選挙予定候補

ヤンプ・シユワフのゲート前の県民大行動に駆けつけたデニー知事は、「新基地建設を強行しようとしている国の横暴に絶対に負けてはならない。基地のない平和な島、沖縄をめざす道のりを、

岸本洋平さんインタビュー

県民のみなさんとつづいていこう」と訴え、名護市長選挙立候補予定の岸本洋平さんも決意表明しました。

防衛省沖縄防衛局は7日、県の判断に対し、「対抗措置」として不服審査

請求を国土交通相に提出し、「不承認」の取り消しを求めています。

全国から沖縄と連帯し、名護市長選への支援を広げましょう。

(支援先2面)

新基地は認めない

完成の見通しがたない新基地建設を続けること、その工事に多額の税金を投じることは許されません。政府は、しっかりと民意に向き合うべきです。

名護市民は、県民投票において73%が辺野古埋め立て反対の民意を示し、沖縄県全体でも72%が反対の意思を示しました。

5年前、名護市安部の海岸にオスプレイが墜落。その後もあとをたたない米軍関係の事故や化

学物質による水汚染など、私たちの郷土、生活は日々危険にさらされ続けています。このままでは島民が安心して自由暮らしをする場所がなくなってしまうのではないかと危惧しています。

〈2面へ〉

【年末年始の発行について】 今号は年内の最終号です。12月25日買だて(1月8日号と合併、4頁分は大会議案草案)は、12月20日の週に届きます。1月の通常号は15日号からです。

